

令和2年度 第4回香芝市都市経営市民会議 議事要旨

- ◆開催日時 令和3年2月16日(火) 午前10時～正午
- ◆開催場所 香芝市役所 本庁舎3階 第1会議室
- ◆出席者 中川会長、平越副会長、石原田委員、井上委員、植田委員、小川委員、沖本委員、粕井委員、清水委員、縄田委員、萩原委員(計11名)
- ◆事務局 企画部:堀本部長、遠藤理事
企画政策課:足立課長、宮崎主幹、吉谷主査、佐々木主任、浅田主事
- ◆議題 (1)「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」進捗確認について
(2)「第5次香芝市総合計画」策定について

各議題について

(1)「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」進捗確認について

令和2年度の進捗確認および計画期間全体の総括評価について…資料1-1～4

<意見及び質疑>

- :【資料1-3】25ページ目「市民協働まちづくりイベントの実施」事業について、令和2年度の進捗が「遅れている」となっているが、担当課総括結果がAとなっているのはなぜか。
→(事務局)各年度に設定している実施計画に対する進捗確認とは別に、計画期間全体の事業内容として、総合戦略に「市民団体との連携協働により、市民が主体となり地域活性化につながるイベントを行います。」と記載されており、これに対してどうだったかという観点から、Aとしている。
- :今後の進捗確認においては、担当課の主観が入らない評価指標にしていきたい。
- :【資料1-4】項目16番「子育て支援事業参加者数」の指標について、H26年度以降減少傾向が続いていることをどのように捉えているのか。
→(事務局)参加者数が減少している要因としては、子どもの人口が減ってきていることや、3年保育が増えたことにより、未就園児の実質人数が減ったこと等が考えられる。
- :子どもの人口減少が見込まれている中では、目標値の設定があまりにも高すぎると思われる。
- :達成見込みのない目標をそのままにすることは、担当部局の士気に関わるので、目標値の変更については弾力的に扱い、変更案を当会議で審議するといった運用すべきと思う。
- :【資料1-3】49ページ目「学校教育環境整備事業」について、一人1台パソコンの整備等進捗を実感できる点もあるが、今後、継続的に質を上げていくための取り組みが必要と思われる。また、I

CTを使いこなせる人とそうでない人のデジタル・ディバイド(情報格差)にも対策が必要と考える。

- : 当会議は市の最上位計画である総合計画を審議する会議であるので、大きな視点での提言が必要であり、施策の具体的な事柄については各専門の会議等において専門家を交えて審議していただくのが良いと思う。
- : 【資料1-3】64ページ目「防災意識啓発事業」について、「自助」や「共助」を行政ではない第三者的な立場から発信することは大切であり、防災リーダーの育成はそういう視点からも位置づけられると良いと思う。
65ページ目「防災用品等備蓄事業」について、新型コロナウイルスの影響により避難所の収容人数が少なくなることも考えられるので、自宅の家具を固定する設備や、在宅避難される方に対する助成等があれば、防災意識の醸成につながるのではないかと。
68ページ目「流域貯留浸透事業」について、事業化するため池の選定経緯や整備過程等を付近の住民に説明し理解してもらうことができれば、災害が起きた時のイメージを自分事として考えることができ、自助の促進につながるのではないかと。
- : 「自助」「共助」という言葉は総合戦略の中でも散在しているので確認が必要。「自助」「共助」は本来の意味ではなく「公助」でやるべきことを個人や地域に押し付けているような悪い印象を持たれることがあるので、「自助」は「自分自身や家族でなすべきこと」、「共助」は「地域社会で互いに助け合うこと」といったように、誤解を招くことのないような説明や言いかえをすべきと思う。
- : 【資料1-4】項目 16 番「子育て支援事業参加者数」の指標については、先ほども意見があったとおり見直しが必要である。
項目 20 番「保育所待機児童数」について、直近3年間は0人という目標が達成されており、事業の成果が表れていると思うが、将来的には年度当初の5月1日時点だけでなく、年度途中の待機児童数も0人に維持できることを目標とし、働きやすい社会構築につなげていただきたい。
- : 希望した保育園に入所できなかった事例等もしばしば耳にするので、産後女性の社会復帰を支援するためにも、保育のインフラ整備は重要である。また、【資料1-4】項目 18 番「新生児訪問実施率」について、令和2年度では新型コロナウイルス感染症の影響も受け、実施率が低下したと思われるが、訪問することで虐待の予防や早期発見につながる場合もあると考えられるため、可能な限り注力いただきたい。
- : 農業委員として意見させていただくが、【資料1-3】62ページ目「特定農地貸付事業」について、令和2年度の目標を「遊休農地解消1筆、面積 1,000 m²」としていたのに対し、実績見込みは

「面積 200 m²」と目標を大幅に下回る結果となっているが、一方で 30 ページ目「悠久の光」事業では、新しい品種の酒米を 3,000 m²近く作付する予定をしている。この両事業は「遊休農地を減らす」という共通の目的を持っており、結果的には遊休農地の減少については目標を上回って達成していると考えられるので、双方の関連についての記載上の工夫が必要に思う。

- : しっかりとした進捗管理を進めているからこそ懸念されることが、KPIの自己目的化である。つまり、KPIを達成することが目的にすり替わらないように注意しなければならない。むしろ、KPIが達成できなかった時に、なぜ達成できなかったか、外部要因を受けたのか、またその状況変化にどのように対応できたか等の重要な要素が見えてくると考える。
また、過去に設定した指標が有効であるか、ほかの指標は検討できないか、目標は達成されている場合にも本当に改善点はないか等、都度見直す機会をもつことで、真に目指すべきものを確認することができると思う。
- : KPIについては、活動指標（アウトプット指標）だけでなく、成果指標（アウトカム指標）を設定できればなおよいと思う。長期・中期・短期という見方でも指標の立て方は変わってくると思うので、設定時にはしっかりと検討いただきたい。しかし実際のところは、成果指標は数値の把握が困難な場合もあるので、活動指標を柔軟に見直しながらか活用し、自己評価していけばよいのではないかと。
- : 【資料1-4】項目 3 番「商工会主催の創業セミナー参加者数」について、創業セミナーに参加後、当該年度中に起業した人の数ということであるが、受講者の事業計画の具体性にもバラつきがあるため、起業まで2~3年ほど期間を開けられる方もおられる。そのため、受講者の追跡調査を行えば、目標値を超えている可能性がある。
項目1番「新規創業資金融資制度利用者数」について、目標値 60 人に対して R2 年度実績が 42 人なので、達成率に換算すると70%であり、達成状況は「×:未達成」と評されているが、「△:未達成だが概ね順調に進捗」でもよいのではないかと。
項目8番「審議会等における女性登用率」についても、目標値 30%に対して実績値 25.9%、達成率で約 86%になるので、「×:未達成」でなく、「△:未達成だが概ね順調に進捗」が妥当ではないかと思う。
項目 24 番「都市計画道路供用済延長」については、H26 以降の実績値が 27.3Km から全く変化していないが、進捗がないため「×:未達成」ということか。達成率は 90%以上ではあるが、これについても評価が妥当なのかは疑問がある。
項目 31 番「要介護認定率」については、H25 時点の 14.1%から R2 目標値 14.4%を目指す指標であるが、実績値 14.5%であるのに対して、評価は△になっている。実績値が目標値を上回っているように見えるが、達成度をどのように考えているのか。

→(事務局):「要介護認定率」の指標については、数値が低いほど望ましい状態である。高齢化に伴って増加する数値を抑制することを目標にした指標である。

●:この指標の推移を見ただけでは、その背景が読み取りにくいので改善が必要に思う。

●:【資料1-4】項目 12 番「合同企業説明会参加により市内企業に就職した人の数」については、そもそも高校や大学、ハローワーク、民間企業等でも企業説明会等は開催されており、また、近年は求人が求職者を上回る売り手市場の傾向が続いていたこともあったため、市が実施する必要性はなかったように思う。平成 28 年以降は開催自体されていないが、KPI としても項目から削除してもよかったのではないか。

●:KPIに関しては、定期的に見直しの機会を設けてもよいと思う。

●:本日各委員からいただいた意見等をもとに、総合戦略の総括としての答申を作成する。

(2)「第5次香芝市総合計画」策定について

①パブリックコメントの実施結果について…資料2-1

いただいたご意見及びご意見に対する香芝市の考え方について報告

<意見及び質疑>

特になし

②基本計画(案)への答申書について…資料2-2~4

答申書(案)について提示

<意見及び質疑>

答申書(案)のとおり承認

③総括意見

●:計画において、市として子どもたちをどういうふうに子育て・教育していくのかということと、まちをどうしていきたいのかということをリンクさせて考えなければならないと感じた。

例えば、「女性活躍の推進」ということに関して言うと、子どもたちが学校で、男性、女性ということに対してどのように学んでいるのかということが、まちの未来を決めるとも思うので、十分に考えながら進めていく必要があると思っている。

●:総合計画には、新型コロナウイルス感染症に対することが盛り込まれているが、今般、国において、災害時の高齢者らの避難方法等に関する「個別計画」の策定を市町村の努力義務とする方針が出されている。香芝市においても、できるだけ早く「個別計画」の策定が進むよう、お願いしておきたい。

- :日ごろ、子育てや仕事などに追われている方たちに、香芝市政に関心を持っていただくことはなかなか難しいと思うが、関心を持たれたときに、どう関わっていただけるかも考えていく必要がある。そのための、情報発信も大事なことだと思う。
- :計画を立てて、それに向かって進めるというのは非常に大事なことである。全てを実現することは難しいかも知れないが、今後、ますます活発な議論をしていただきながら、よりよい香芝市になるようお願いしたい。
- :私は、災害の際に、行政の方が自分自身も被災していながら、まちのため、市民のために動いている姿を目の当たりにした経験があり、まちづくりのために個人としては何ができるのかという観点からも審議に参加してきた。今後、私自身も含め、みんなでできるところから、できる範囲で協力しながら、まちづくりに取り組んでいくことができれば、よりよいまちになると思う。
- :計画を立てて進めていくという姿勢があれば、よりよいまちづくりにも向かっていけると思うので、がんばっていただきたい。
- :答申書において「毎年度 PDCA サイクルによる進行管理を行い、必要な場合には本計画を修正することも検討されたい」としたように、計画は柔軟さとしなやかさを持たせたものとなっている。来年度以降も、計画をブラッシュアップさせながら、市民のために取り組みを進めていただきたい。
- :職員を含め、多くの方が関わり、さまざまな角度から検討していただいて、良い計画になったのではないかと思う。
- :新型コロナウイルス感染症の感染拡大という思わぬ事態が生じて、それをこの計画の中に盛り込むというのが大変大きな課題だった。こういった遠い国で起こった出来事が、我々の生活自体を一変させるという、そういう事態は今後も生じるのだろうと思っている。
この総合計画は、SDGsについて記載されているという点においても、世界とつながった計画になっていると言えるので、SDGsの目標も照らし合わせながら、この計画に沿ってまちづくりが進むことを期待したい。
- :市のバックアップで商工業の発展も進んできたところがある。今回の総合計画にも多くの施策が盛り込まれており、それぞれに細部まで検討いただけたと思う。
- :この総合計画において特記すべきこととしては、「自助」「互助」「共助」という関係が、各施策のページの中に「生活の中でみんなができること」として表現されている点である。「市民ができること」は自助、「事業者ができること」も自助、そして「地域ができること」は言わば地域共助、残りが行政のすることになる。今までは総合計画というのは、行政のすべきことだけが書かれていたために、市民から見たときに、何でも行政がするべきではないかと思えてしまっていた。それではだめだ

ということで、今回、住民自治の立場に立って、市民がなすべきことをしっかり記載していただいた。
また、KPI(目標値)の設定について、今回の計画には、目標値がきちんと設定されており、そういう意味では時代に即した、県内でも最先端を走る計画になっていると思っている。

これからは、計画として良いものができたから変えない、というような姿勢ではなく、必要な時には弾力的に変える計画であるということも理解しておいていただきたい。

この計画こそ、私は市民の財産にしていきたいと思う。

その他について

連絡事項を伝達

以上